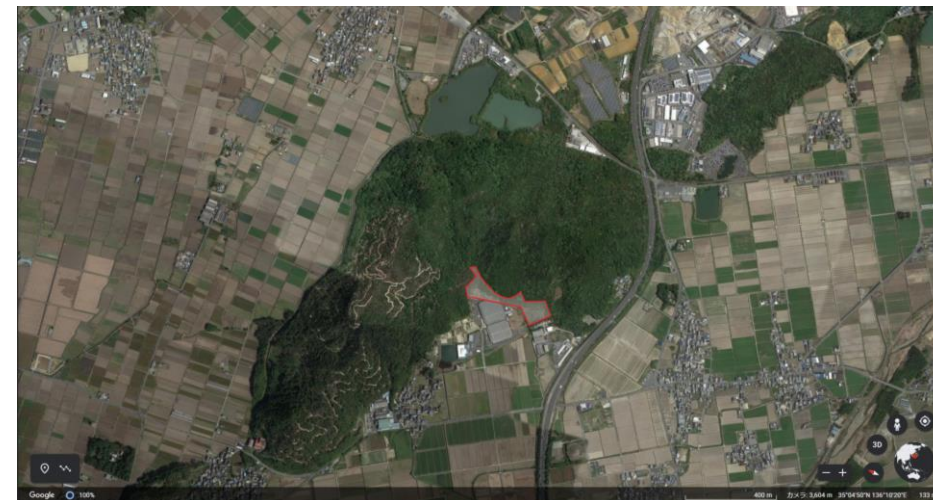


- 場所・面積** 滋賀県東近江市、 2.3 ha
- 管理目的** 生物多様性保全の一環とし、事業所敷地内に残存する貧栄養湿地や緑地に生息する希少な生きものを保全。また、環境教育の場としても活用。
- サイト概要** 滋賀県東近江市布施山（標高241m）の山麓にあり貧栄養湿地が広がる。敷地内の貧栄養湿地には希少な湿地性植物が多数生育。また、ハッチョウトンボなどの希少動物の生息や繁殖を確認。
- 土地利用の変遷** 布施山の山裾の一部が開発された企業造成地に事業所を設立。土地開発時に地域の住民や専門家により設立予定地に生息する希少植物の一部を移植。移植したエリアを当社において貴重種保護区域とした。
- サイト周辺の環境** 布施山の山林と水田地帯に囲まれ、多様な環境で構成される豊かな自然環境が見られる。布施山の北側に位置する布施溜池は鳥類や水草の多様性が高い地域である。
- アピールポイント** 貧栄養湿地にはイシモチソウをはじめ、希少な湿地性植物が多数生育。また、ハッチョウトンボなどの希少動物の生息や繁殖を確認。  
2007年に滋賀県が県民を対象に募集した『守りたい育てたい湖国の自然100選』に選ばれた「稲垂の湿地（No.40）」



## 生物多様性の価値

## 価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

## 【場の概況】

滋賀県東近江市布施山（標高241m）の山麓にあり貧栄養湿地が広がる。  
また、敷地内の調整池ではカイツブリの繁殖を確認。

## 【確認された希少種】

現時点では、環境省レッドリスト2020及び滋賀県RDB2020掲載種として、植物6種、鳥類1種、爬虫類1種、両生類1種、トンボ類6種の生息・生育が確認されている。確認された主な種は以下のとおりである。

植物：イシモチソウ（環境省 準絶滅危惧（NT）、滋賀県RDB2020 その他重要種）など

鳥類：カイツブリ（滋賀県RDB2020 希少種）

昆虫類：メガネサナエ（環境省 絶滅危惧Ⅱ類、滋賀県RDB 希少種）

ネアカヨシヤンマ（環境省 準絶滅危惧、滋賀県RDB2020 絶滅危機増大種）

ハッチョウトンボ（滋賀県RDB2020 要注目種） など



写真の撮影年月：2022年6月8日

写真の説明：ハッチョウトンボの繁殖活動



写真の撮影年月：2022年10月10日

写真の説明：メガネサナエ

## 生物多様性の価値

価値（7） 分布が限定されている、特異な環境へ依存するなど、その生態に特殊性のある種が生息生育している場又は生息生育の可能性が高い場

## 【場の概況】

滋賀県東近江市布施山（標高241m）の山麓西側にあり貧栄養湿地が広がる。

## 【確認された分布限定等種】

貧栄養な湿地を生息環境とするイシモチソウ（環境省 準絶滅危惧、滋賀県RDB2020その他重要種）などの希少な植物が確認されている。



写真の撮影年月日：2022年10月11日  
写真の説明：保全エリアの貧栄養湿地



写真の撮影年月日：2023年4月24日  
写真の説明：イシモチソウ

## 生物多様性の価値

## 価値（8）越冬、休息、繁殖、採餌、移動（渡り）など、地域の動物の生活史にとって重要な場

## 【場の概況】

滋賀県東近江市布施山（標高241m）の山麓西側にある工場敷地内の調整池。  
ヒメガマなどが繁茂している。

## 【対象となる動物種】

- ・ カイツブリ（滋賀県RDB2020 希少種）

## 【動物が利用している生活史】

- ・ カイツブリの営巣と卵、その後、雛を背中に乗せている姿を確認。  
この池で繁殖していることを確認。



写真の撮影年月：2022年5月8日

写真の説明：カイツブリの抱卵



写真の撮影年月：2022年5月22日

写真の説明：カイツブリが雛を背中に乗せている様子 4

## サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
<p><b>【管理計画の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>希少な生物が生息する貧栄養湿地の維持のために、順応的管理を行うことを目的とする。陸生植物へ遷移を遅らすため、マツなどの陸生植物を伐採、伐根を継続的に実施。</li> </ul> <p>2019年より年1回（冬）実施</p>	<p><b>&lt; 専門家によるモニタリング &gt;</b></p> <p><b>【モニタリング対象】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トンボ種</li> </ul> <p><b>【モニタリング場所】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保全エリア（湿地・調整池・周辺散策路）</li> </ul> <p><b>【モニタリング手法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>捕虫網での捕獲および目視</li> </ul> <p><b>【実施時期及び頻度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初夏（年1回）</li> </ul> <p><b>【実施体制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トンボ種モニタリング</li> </ul> <p>2018年～2020年まで年3回（春・夏・秋）実施 2021年～年1回（初夏）実施</p> <p><b>&lt; 当社担当者によるモニタリング &gt;</b></p> <p><b>【モニタリング対象】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両生類、カイツブリ、貧栄養湿地の植物</li> </ul> <p><b>【モニタリング場所】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保全エリア（湿地・調整池）</li> </ul> <p><b>【モニタリング手法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目視</li> </ul> <p><b>【実施時期及び頻度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>繁殖期、開花時期に実施</li> </ul>